

自動車整備人材確保・育成に係る取り組みについて



【運輸部】

自動車は私たちの生活に深く関係しており、自動車を安全かつ快適に、また、環境にやさしく使用するためには、自動車整備は必要不可欠であり、その仕事に携わる自動車整備要員の社会的役割は益々重要になっています。

しかし、近年、全国的に少子化や若者のクルマ離れの進展、将来選択肢の多様化などにより、自動車整備士を目指す若者が激減する一方で、整備要員の高齢化が進展し、近い将来、人材不足が顕在化する可能性が大きくなってきました。

このため、(二社) 沖縄県自動車整備振興会(以下、「沖整振」という。)では「自動車整備士人材確保・育成地方連絡会」を平成27年に立ち上げ、関係機関の協力を得てイベントの開催や中高生を対象とした体験・インターンシップの推進などの活動を行っており、沖縄総合事務局が関わる取り組みの幾つかを紹介いたします。

①自動車整備に係るPRのための高等学校訪問

当局が中心となって、平成26年度から高等学校訪問を開始し、校長や進路指導の教諭に対して、自動車整備の仕事の社会的重要性、自動車社会の安全・安心を支える自動車整備士の社会的貢献度の高さ、自動車整備の仕事における将来性をPRすることにより、自動車整備の仕事への理解を得るとともに、高校生が自動車整備の仕事に就職する機会の確保を図る取り組みを行っています。



高等学校訪問実績

年 度	訪 問 高 校 数
令和元年度	12 校
平成 26 ～ 30 年度	60 校
合 計	のべ 72 校 (県内の高等学校数は 66 校)

②職場環境改善に係る講話等

沖整振では、人材確保には各事業場における職場環境の改善が必要との観点から、平成30年11月の指定自動車整備事業場管理責任者講習会において、従業員満足度に詳しい外部講師による講話を実施し、当局からも同講習会へ講師として担当官を派遣しました。

③高等学校訪問から展開した出前講座の実施

当局では、従来実施している高等学校訪問に加え、更なる人材確保・育成の推進を図るため、令和元年10月15日に中部農林高等学校2年生(34名)に対して自動車整備に関する出前講座を県内で初めて実施しました。

出前講座では、沖整振、パシフィックテクノカレッジ学院及びOTMグループ(沖縄県トヨタグループ)の協力を得て、タイヤ交換作業体験、スポーツカーや自動車整備士の仕事紹介を行い、生徒達は楽しみながら自動車整備について学びました。

今後とも、自動車整備人材確保・育成に係る取り組みを積極的に推進していきます。



出前講座の様子

陸運事務所整備部門

☎098-875-0300